社会サービスのユニバーサル・デザイン —医療・介護・居住の新たな政策課題—

★日時 : 2011年6月25日(土) 13:00~16:00

場所 : 北海道大学学術交流会館 小講堂

主催 日本学術会議 包摂的社会政策に関する多角的検討分科会

共催 社会政策関連学会協議会

後援 日本学術会議北海道地区会議、北海道大学高等法政教育研究センター

趣旨 : 近年の日本では「格差社会」が注目されるようになり、非正規雇用の増大にともなう相対的貧困層の増加や社会保障制度からの排除、社会関係からの孤立などの問題が広く認識されるようになった。OECD諸国を見渡すと、北欧を中心として貧困率が低い諸国では、医療以外の多様な社会サービスに公的社会的支出の相当部分が当てられている。逆に社会的支出の大半を年金に当てている諸国(日本を含む)で、高齢人口の貧困率が高い場合が少なくない。介護、保育、積極的労働市場政策、居住保障といったサービスにより、労働年齢人口の社会参加と稼働力を支援する包摂的社会政策が、老齢退職後の所得貧困にたいしても防止の機能をもつという仮説が導かれる。今回のシンポジウムでは、医療、介護、居住などのサービスの現状とともに、それらをユニバーサルにすることの効果、学問的に検討する。

プログラム.....

13:00-13:05 開会挨拶 岸玲子(北海道大学特任教授、日本学術会議北海道地区代表幹事)

13:05-13:10 開催趣旨 笹谷春美(北海道教育大学教授・日本学術連携会議会員)

I シンポジウム(13:10-14:40)

・「あるべき医療」と「ある医療」の相克:東日本大震災と福島原発事故後の医療政策を考える

二木立(日本福祉大学副学長・日本学術会議連携会員)

・介護サービスのユニバーサル化:介護する/されることが不利益にならないための社会的支援

笹谷春美(北海道教育大学教授・日本学術連携会議会員)

・居住福祉法政策の課題および実践の道筋 吉田邦彦(北海道大学教授)

II 討論(14:50-15:50)

司会者 大沢真理(東京大学教授・日本学術会議会員)

討論者 横山純一(北海学園大学教授)、岸玲子(北海道大学特任教授、日本学術会議会員)

15:50-16:00 閉会挨拶 古川 孝順(東洋大学教授・日本学術会議連携会員)

(参加申込方法)

■E-mailまたはFaxで、必要事項(氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス)をご記入の上、以下の問い合わせ先担当宛、お申し込みください。

遠藤公嗣(明治大学経営学部教授・社会政策関連学会協議会副代表)E-mail: social2008@live.jp Fax: 03-3296-2350

■参加費無料、当日受付可 *定員(160名)となり次第、締め切りとさせていただきます。